

叡啓大80人 新たな一歩 中区で入学式 4学年そろろう



新入生を代表してスピーチする
森本さん（手前右）

県立の叡啓大（広島市中区）の入学式が4日、中区のホテルであり、新入生80人が学生生活をスタートさせた。2021年春の開学から4年目を迎え、全4学年がそろった。

新入生のうち県内出身者は28人で、留学生はウクライナとミャンマー、フィリピン出身の5人。東京都立高から進学した森本紗也さん（18）が新入生を代表し「人と人が助

け合う未来を創造するため、時代を切り開くチェンジメーカーになる」と決意を語った。

有信睦弘学長は人工知能（AI）は未来を描くことはできないとした上で「社会像を描き、形にする力を身に付けて」とあいさつした。

同大は社会の課題を見つけて解決策を考えるソーシャルシステムデザイン学部の単科大。春入学の定員は80人で新入生を含む学生数は340人となった。うち留学生が9%の31人を占めている。

（長久豪佑）